



2025年9月11日

各 位

会 社 名 デジタルグリッド株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 豊田 祐介
(コード番号：350A 東証グロース市場)
問い合わせ先 取締役 CFO 嶋田 剛久
TEL. 03-6277-7123

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年7月期連結会計年度(2024年8月1日～2025年7月31日)において、2025年4月22日に公表した連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2025年7月期通期連結業績予想と実績との差異(2024年8月1日～2025年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 ^{*1} (A)	5,587	2,362	2,186	1,556	256円20銭
実績値(B)	6,153	2,742	2,614	1,870	308円73銭
増減額(B-A)	566	380	428	314	—
増減率(%)	10.1%	16.1%	19.6%	20.2%	—
ご参考：2025年7月期中間連結会計期間実績 ¹	3,308	1,710	1,660	1,185	199円76銭

※1 2025年4月22日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の数値

2. 差異の理由

電力PF事業の主な売上高は、非再エネ電力を対象とした電力需要家によるDGPを通じた電力取引に伴う需要側DGP手数料によって構成されています。この手数料は、需要家の使用電力量(kWh)にDGP手数料単価(円/kWh)を乗じることで算出されます。使用電力量については季節変動があり、冷暖房需要の増加する夏季及び冬季には使用電力量が増加し、春季及び秋季には減少するという傾向があります。

また、2024年1月から2025年1月を対象期間とした月次解約率の平均値は約1.9%ですが、直近の競争環境の変化を踏まえ、電力契約の切り替えが多い4月の解約率を1.9%よりも高めに設定し、4月以降のDGP手数料収入の減少を織り込むなど、当期の下半期については予算上慎重な見通しを立てておりました。

そのような中、3～5月における月次解約率は予算で想定していた水準を下回り、さらに6～7月にかけて全国的な気温上昇に伴う冷房需要の増加を要因として使用電力量が大幅に拡大したことでDGP手数料収入が伸長し、売上高の増加につながりました。

以 上